

## ようこそ！お茶の水学術事業会へ

NPOお茶の水学術事業会理事 篠塚 英子  
 (本学文教育学部教授・学長補佐)

特定非営利活動法人、Non-Profit Organization、頭文字をとってNPOお茶の水学術事業会(以下略称「事業会」)。昨年末に誕生したピカピカの赤ちゃんです。事業会は、①社会教育の推進を図る活動、②男女共同参画社会の形成の促進を図る活動、③子どもの健全な育成を図る事業、の三本柱の活動を支援する目的で作



お茶の水学術事業会のスタッフ

られました。財源はこうした活動に賛同する一般市民が会員として納める会費や寄付によっています。現在、本学教職員の約七割の方が、準備段階で寄付や会員として支援をしてくださいました。目下、大学関係者をはじめ卒業生や近隣の一般住民の方々に向けて広く会員募集の作業を、事務局で馬力をかけているところです。在学生に対する勧誘も次に控えています。どうして大学がNPOに協力することに

なったのか？ 国立大学の独立行政法人化の動きがきっかけです。法人になっても国費運営は変わりません。しかし大学も企業のように独自の経営管理を求められ、社会からの評価が低いと予算が減らされることにもなるのです。つまり大学の財政基盤の不安化です。当初は大学の財源を直接支援する基金による財団法人後援会づくりを考えました(九州大学、山口大学など数年の準備を経て実施)。そのためには少なくとも数億円の基金が必要です。残念ながら本学ではこうした大学支援の経済的基盤への対応が遅れていました。また巨額な募金達成も絶望的でした。そこで逆転の発想。独法化の狙いには大学が象牙の塔から飛び出て地域社会に貢献することを謳っています。大学のもつ豊富な人材と知的財産を地域社会に還元し、社会的存在としてのお茶大を強くアピールする。これにはNPOが強力な効果を発揮します。こうした背景から事業会はお茶の水女子大学と連携しながら、男女共同参画社会の環境づくりをすること等を理念としてスタートしました。地域社会の一員に甘んじることなく、国際社会での存在を高からしめるためにも、財政支援という狭い視点から距離を置きました。事業会の支援事業が大きく育つことで大学も学生も、さらに市民の方々も、利便も受けるでしょう。同時に社会的存在としての本学の評価も高まるは



特定非営利活動法人  
**お茶の水学術事業会**

ずです。国際協力の支援や、女性の就職、各種相談等の支援に関心をおもちの学生や市民の皆さん、是非、事務局にお立ち寄りください。本学の卒業生がご相談に応じます。  
 電話・FAX〇三・五九七六・一四七八  
<http://www.npo-ochanomizu.org/>

### 大学の暦(平成十五年二月)

- 二月四～十七日 後学期末試験
- 二月二五・二六日 学部(前期)入試
- 三月十二日 学部(後期)入試
- 三月二四日 卒業式・修了式
- 四月 九日 入学式
- 四月十五日 前学期授業開始

### 編集後記

日本の大学は、教育面においてもアジアのセンターとなるように更なる国際化を計ることが望まれております。その一つの現れとして、アフガニスタンの女子教育支援コンソーシアムが作られ、参加している五つの女子大学の一つとして本学は、ますます積極的な役割を果たしていこうとしております。

その目標は、アジア全体の中で、高い教育を受けた女性の、社会での継続的な活動に寄与することです。日本の国内においても、社会で女性が継続的に活動をする上で、それに寄与する大学の模範となることを目指し、本学の大学・大学院教育システムの改善向上の取り組みを今後ともお伝えしたいと思っております。(編集長 今野)

本誌に関するご意見・ご要望・記事の掲載などは、企画広報室にお寄せください。

お茶の水女子大学広報誌 Tea Times  
 平成15年2月28日発行  
 編集発行/お茶の水女子大学広報委員会

編集/今野美智子(編集長 理学部) 福島 昇(編集事務 企画広報室)  
 問い合わせ先/お茶の水女子大学企画広報室 〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1  
 TEL03-5978-5105 FAX03-5978-5890  
 E-mail info@cc.ocha.ac.jp URL http://www.ocha.ac.jp/

印刷 昭和堂